

「鉄筋コンクリート造建築物における構造スリット設計指針」 講習会のご案内

(社)日本建築構造技術者協会 東北支部 加藤重信

RC系建物では、構造スリットが常識のように採用されている。しかし、構造スリット付き壁を含む梁の剛性評価では、解析プログラムのメニューの評価方法が多く採用され、多くの要求性能があるにも関わらず設計資料が整備されていないのが現状である。

本指針は、適切な構造計画を行うためにスリットを設けた壁付き部材の間違った剛性評価が慣例的に行われていることを正し、しかる上で次善の策として設けたスリットに対して「守るべき水準」と「性能検証方法と評価レベル」を体系的に示したものである。

構成は以下の通り

第1章 総則

第2章 スリット付き壁を含む柱・梁の剛性評価

第3章 要求性能

第4章 スリット部の設計

付録 スリット付き壁を含む梁の剛性評価

(垂れ壁付き梁, 腰壁+垂れ壁付き梁, スラブの影響, 開口壁が取付く梁の剛性評価)

資料 データシート他

記

1. 開催場所・会場・日時：

2010年2月9日(火) 14:00~17:00 (受付 13:30~)

エル・パーク仙台(旧 141) 5F セミナーホール 仙台市青葉区一番町 4-11-1 TEL 022-268-8300

2. テキスト：「鉄筋コンクリート造建築物における構造スリット設計指針」

3. 講師(予定)：技術委員会 構造スリットWG 委員 (のうち2名予定)

4. 参加費： 会員 5,500 円(テキスト持参は 3,000 円), 非会員 6,500 円(テキスト持参は 4,000 円)

申込み後すみやかに受講料を下記口座にお振込下さい。(振込手数料はご負担下さい)

日本建築構造技術者協会 東北支部 [郵便振替] 02230-6-6975

5. 定員： 120 名 (定員になり次第締め切らせていただきます。)

6. 申込方法： 下記申込書に必要事項を記入のうえ、JSCA 東北支部事務局に FAX 022-299-5855

又はメール(jsca-th@cpost.plala.or.jp)にて、1月29日(金)までにお申込下さい。

講習会開催一週間前を目途に受講票をお送りします(未入金者は除く)。

7. 構造士更新：JSCA 建築構造士登録更新のための評価点申請中

JSCA 建築構造士の方は、登録証を当日必ずご持参の上、受付にてご提示下さい。
建築CPD 情報提供制度対象講習会

講習会「鉄筋コンクリート造建築物における構造スリット設計指針」参加申込書(仙台)

FAX : 022-299-5855 E-mail : jsca-th@cpost.plala.or.jp

申込み区分(丸印)： 会員 非会員 / テキスト： 有 無

(フリガナ)

氏名 _____ (会員の方は)会員番号 _____

連絡先 TEL :

勤務先、学校名 _____ FAX :

JSCA からの連絡用宛先 E-mail : _____

(取得者は) 構造設計一級建築士番号 : _____